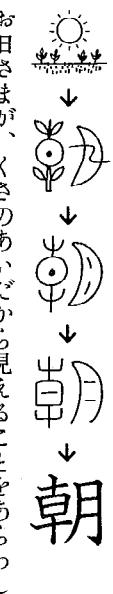


朝

二年 筆順 + 吉 車 朝
画数 12



成り立ち

お日さまが、くるのあいだから見えることをあらわしました。『草』と、『お月さま』とをくみあわせてつくった字です。よるのお月さまにかわって、お日さまがかおを見せる『あさ』をあらわしたもののです。

「もとの字は、旁が『月』で、『舟』の変形したものである。音のシユウが『朝』の字の音符で、チヨウは訛つたものである。会意・形声字である。」

『朝』が、朝廷の意に用いられるが、昔、天子が毎朝、重臣を廷前に集めて政務をとつたことに因る。』

直

二年
画数 8
筆順 + 千 直
オソ チヨク・ジキ
ワシ ただ||ちに・なお||す||る

成り立ち



「十（年36）と、『目』と、ものの『すみ』をあらわした『』とをくみあわせてつくった字。

「十人の人の目で見れば、もののすみすみまでまちがいなく、『ただちに』見とおすことができる、まちがいがあつても、『なおす』ことができる」といういみにあります。『ただちに』『じきに（すぐに）』といいうみにもつかわれます。

『なおす』『なおる』といいうみにもつかわれます。『まつすぐ』『正しい』といいうみにもつかわれます。

例直進、直立、曲直。

また、『じかに（間にものや人が入らないこと）』と、いういみにもつかわれます。例直接、直訴。

〔チョクは漢音、ジキは吳音〕

使い方

▽早朝のトレーニングは、たいへんだが、おわったあとは、きぶんがさっぱりします。

▽朝、おきてみると、ゆきがふつていました。そこにとび出してみると、あたりはいちめん、銀世界でした。白いゆきに朝日があたって、さらさらと、まぶしくかがやいていました。

▽朝がくると、おほしさまはどこへいつちやうの? と、おとうとが、ぼくにきました。そこで、「おほしさまは、お日さまがでると、見えなくなるんだよ。どこかへいっちやうわけじや、ないんだよ」と、おしゃれていました。

熟語例

▽朝食 (あさはん)

▽早朝 (あさはる)

▽朝令暮改 (朝、出した命令が、夕暮れになると改められること。あてにならない命令のことをいつたものです。)

▽朝廷 (むかし、天子さまが政治をなさつたところ。国の中)

▽人 (ひ) る。いは直立して手をつかうことと、ひやくてきな進歩をとげました。

▽ぼくは、先生にしせいを直されました。せなかがつてていると、体や目にわるいのだそです。

▽わたしの家の近くに、よくパトカーがやって来て、「ここは車を止めてはいけないばしょです。直ちに車をいどうさせて下さい」といつています。でも見ているといわれた通りに、すぐに車をいどうさせる人は少ないようです。

熟語例

▽直進 (まつすぐ進むこと。)

▽直立 (まつすぐ立つこと。)

▽曲直 (曲がったことと、まつすぐなこと。また正しくないことと、正しいこと。「理非曲直をわきまえる」などといいます。理と直、非と曲は同じいみにもつかわれています。)

▽直接 (じか。間になにもはさまないこと。)

▽直訴 (じかに、お上 (うえ) に訴えること。きまつた手づきをふまないで上 (うえ) の人に訴えること。)